

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)MINASE INNOVATION CENT	階数	地上5F
建設地	大阪府三島郡島本町百山	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	120 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年11月9日
敷地面積	3,207 m ²	作成者	プラナス株式会社
建築面積	1,867 m ²	確認日	2019年11月9日
延床面積	5,994 m ²	確認者	プラナス株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆を使用している。また主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆を使用している。	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ■内装計画について ・多様な働き方と人々の交流の促進をテーマとする為、エリアごとの用途や雰囲気に合わせて仕上材を切替えること	2階以上の上階に設置している空調室外機が地上面のアイレベルからは見えないように工夫している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能が高い材料を使用している。	LGSを使用し躯体と仕上げ材が容易に分割しやすようにしている。再利用できるユニット部材としてOAフロアを用いている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率59%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0112

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)MINASE INNOVATION CENTR 新築計画					
	建設地	大阪府島本町百山					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					S	
①	CO2削減					5	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.6	5
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		